

# 異言の力

- B. R. ヒックス

聖霊の賜物は、バプテスマのヨハネによって預言されてきました。「私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマを授けていますが、私のあとから来られる方は、私よりもさらに力のある方です。私はその方のはきものを脱がせてあげる値うちもありません。その方は、あなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります。」(マタイ 3:11)。またそれはイエス・キリストによっても約束されてきました。「ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」(使徒1: 5)。聖霊は待ちわびられ、受けとられ、その預言と約束は成就しました。「すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話し始めた。」(使徒2: 4)。舌は身体のうちで最も小さな器官ですが、聖霊が異言で話すというすばらしい奇跡による力を与えてくださると、重要で力強いものになります。身体に關与してくる癒しという奇跡もありますが、異言で話す奇跡は、思いに大変化を与えます。言葉は、先ず思いの中で形成され、その後、舌を通して発せられます。聖霊が臨んで、この小さな器官を通して話された後の舌に与えられた力を調べてみましょう。

## I. 証しする力

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまでわたしの証人となります。」(使徒の働き1:8)

イエス・キリストは、私たちが聖霊のバプテスマを受けた後には、力を授けられると保証してくださいました。私たちが受けるその力は、私たちの通常の大きさを超えた、すばらしい働きをする能力、力強さ、勇気を与えてくださいます。私たちがいと高きところから力を授けられると、自分の持つ力よりもさらに優れた、高貴な御霊による力を授けられるのです。



私たちの舌に臨むこの超自然の力によって、私たちがイエス・キリストの証人となれるのです。このすばらしい力によって私たちは、失われた世に対してイエス・キリストを救い主として宣言することができるようになるのです。この奇跡的な力は私たちが証人になるだけではなく、福音の真理のためなら殉教者となれるだけの勇気も与えてくれるのです。

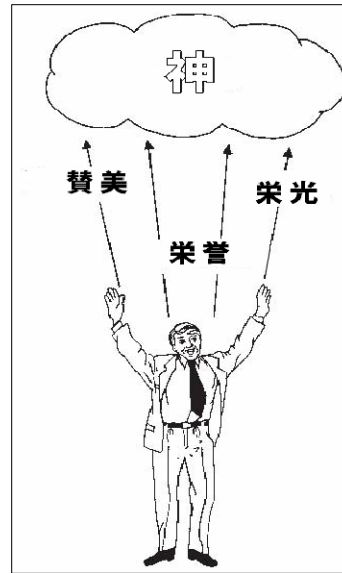
## II. 賛美の力

「ペテロがなおもこれらのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである。…」(使徒 10: 44-46)

聖霊はこれらの異邦人の信者たちにも奇跡的に臨み満たし、彼らがそれまで学んだこともない異言で話せるようにしてくださいました。彼らが異言で話した時、神をほめ讃えた事に注目してください。つまり、これは彼らが神を賛美し、神に栄光を帰したという事です。

私たちは弱くて、もろくて、限りのある存在でしかないので、自分の滅びる舌で神を十分に賛美し

て神に栄光を帰すことはできません。ですから、神は私たちの神への賛美を助けるために、異言を伴う聖霊を与えてくださっているのです。それで私たちは神をほめたたえ、そのお心に満足していただけるような賛美を神にお捧げすることができるようになるのです。自分の国語とは別の外国語で話すことは、主の



御名に栄光を帰し、高らかにほめたたえるような類の賛美を力を込めて、ぐっと押し上げられるように助けてくれます。聖霊の力である一つの大きな奇跡は、死ぬべき存在でしかない者が、神に喜ばれ、神をほめたたえることができるものをお捧げできることです。神は私たちにいのちと愛を与えてくださり、私たちは神に賛美をお返しすることができます。神は慈しみ深く、この特権を私たちに与えてくださっています。

### III. 祈る力

「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。」(ローマ 8:26、27)

聖霊の力は私たちが祈るときに妨げとなる乏しさや弱さを助けてくださいます。聖霊の舌はもろい私たちを強め、私たちが祈りによって神の御前に来る時、人としての欠陥を埋め合わせてくださいます。

私たちはどのように祈り、何を求めるべきか知りません。私たちは自分の状態も他人の状態もよく区別がつかないので、神に何をお求めすればよいのかもわかりません。この人生の中で自分たちにとっても他の人たちにとっても何が良いのかわかっていません。私たちの意志は自分にひ



どくひいきめな偏ったものであり、自分の事しか考えなくなりがちです。自分で求めているものが何なのかもわからず、間違ったところに行ってしまうことが多々あります。私たちはちょうど幼子が自分にふさわしくない青い果物を求めて泣き叫ぶように愚かです。あの偉大な使徒パウロが「私たちは知らない」と自分を含めて言っているのですから、私たちはなおさら、どのように祈ればよいのかわからない、と言うべきではないでしょうか。

聖霊は異言、つまり外国語を通して私たちのために神にとりなしをしてくださるのです。キリストは天で神の右に座してとりなししてくださいます。

「罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしていてくださるのです。」(ローマ 8:34)そして聖霊が、地上において私たちの口を通して異言でとりなしてくださいます。キリストと聖霊は一致し調和して神のみこころに従って、とりなしてくださいます。この方法によって、私たちはこの世の生活で自分にとって最善のものを得ることができます。キリストと聖霊は、それぞれの人の状態をよく判断しておられるので、その人に代わって、どのようなものを求めればよいのかをご存知です。私たちとは対照的に、キリストと聖霊は遠くにあるものをわきまえ、神のみこころを支持されます。この方たちは私たちが主イエス・キリストのご性格とご性

質に似た者として成長するのに助けとなる方法を求めてくださるのです。聖霊が私たちを通して異言によって祈られる時、私たちの祈りの生活には何という奇跡的な力が与えられていることでしょうか。

#### IV. 徳を高める力

「異言を話す者は自分の徳を高めますが、預言する者は教会の徳を高めます。」(第Iコリント 14:4)

異言で話すことを伴う聖霊のバプテスマは、私たち自身の徳を高めてくれます。「徳を高め

る」とは、靈的に指導したり、改善することという意味です。それはまた、建てるという意味もあります。聖霊による油注ぎを受た舌は、心を勇気づけてくれます。それは私たちのうちに目的と決意を与えて、その御名のゆえに困難で、痛みの多い危険な状況ですら忍耐できるようにしてくれます。

聖霊によって私たちの徳が高められた結果の一つは、私たちの神のみことばの理解が増大することです。私たちが他の人と話す時、聖霊によって徳が高められ教えられて語る指導は、その人たちにとって益があるものとなります。私たちが直接、聖霊の聖なる舌によって靈的に指導され、改善され、感化された後は、私たちの言葉は力強く慰めをもたらすものとなります。

私たちの生活で神のみこころの達成を見られるように、新たな決意で心が強められ、励まされ、力を受けることができる、聖霊の舌の新鮮な流れによって毎日を始めることは、何という生ける喜びと楽しみでしょうか。



私は聖霊のバプテスマについてさらに興味があり、知りたいと思います。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

お電話 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_

直接、指導してください。

下記の教会にご連絡ください。

このトラクトに関するご質問、あるいは、追加注文につきましては、[christgospel.jpn@gmail.com](mailto:christgospel.jpn@gmail.com)にメールでご連絡いただくか、または、ホームページ [www.christgospel.sakura.ne.jp](http://www.christgospel.sakura.ne.jp)にてご確認ください。

発行者: Christ Gospel Press  
P. O Box 786  
Jeffersonville, Indiana 47131-0786

© Christ Gospel Churches Int'l., Inc., 1993  
著作権所有  
日本国内にて印刷

このトラクトを無駄にしないで—誰かにお渡しください!

日本のクライスト・ゴスペル・チャーチのホームページ  
[www.christgospel.sakura.ne.jp](http://www.christgospel.sakura.ne.jp)

米国のクライスト・ゴスペル・チャーチのホームページ  
[www.christgospel.org](http://www.christgospel.org)